

I 情報収集提供業務

情報収集提供業務に関しては、主要な畜産物、野菜、砂糖及びその原料作物並びにでん粉及びその原料作物の生産及び流通に関する情報について、収集、整理及び提供を行っている。平成28年度においては、当機構業務であるこれら品目の生産者の経営安定対策、需給調整・価格安定に関連したテーマを中心に、農政上の重要課題である生産基盤の強化、担い手の確保等に向けた取り組みなど、調査テーマを重点化して定め、業務を実施した。

また、農林水産省食料産業局から「平成27年度国産農林水産物・食品への理解増進事業」を受託し、平成28年1月から10月にかけて「生産者等が主体的に需要拡大に取り組む仕組みを検討するための調査」を行いました。

1 情報の収集

(1) 国内

価格・需給データ、需給関連の調査分析報告、優良事例及び地域情報等について、機構職員や専門調査員により収集・整理・分析した。

(2) 海外

機構職員による価格・需給データ、需給関連の調査分析報告及び優良事例等の調査等を基本に、国際会議等への参加による情報収集に加え、コンサルタントの活用等により収集・整理・分析した。

2 情報の提供

(1) 定期刊行物による提供

月報「畜産の情報」、「野菜情報」及び「砂糖類・でん粉情報」の発行による提供とともに、別冊統計資料（畜産、野菜、砂糖類・でん粉）を年1回発行した。

(2) ホームページによる提供

定期刊行物に加えて、年報「畜産」、「国際情報コーナー」及び「国内統計資料」、「海外統計資料」への掲載による提供を行った。

(3) メールマガジンによる提供

メールマガジンにより、各情報誌の発行情報、海外情報、alicセミナー開催案内などの迅速な提供を行った。

(4) alicセミナーなどによる提供

本部におけるalicセミナーや地方事務所における地域情報交換会などにおいて、生産、流通、消費、制度などに関する情報のほか、海外現地調査に関する情報等について、利用者のニーズに応じた情報提供を行った。

3 主要な提供テーマ

(1) 畜産

- ・成長産業化ファンドを活用した養鶏の6次産業化 ～福岡県の(株)タケノフードサービスの取り組みを事例として～
- ・沖縄県産豚肉の競争力強化の取り組み～ブランド豚肉「あぐー」の生産と輸出を中心に～

- ・広島県における稲WCSを用いた広域のTMRセンターと集落営農法人の展開
- ・オール香川県で取り組んだ「オリーブ牛」の戦略～畜産クラスター協議会「讃岐牛・オリーブ牛振興会」を対象に～
- ・米国における牛肉生産の産業構造～消費・輸出入の動向まで～
- ・中国の牛肉需給動向～需給の現状と構造改革の取り組み～
- ・生鮮鶏肉輸出再開後のタイの鶏肉産業の動向
- ・拡大するスペイン養豚産業の現状
- ・ブラジルの穀物生産動向～堅調な生産と加速化が待たれる輸送インフラ整備～
- ・EU酪農の現状と展望

(2) 野菜

- ・かんしょに特化した6次産業化～鹿児島県南九州市の株式会社唐芋農場の取り組み～
- ・野菜生産・販売を通じて地域に貢献する農業生産法人～沖縄県の株式会社クックソニアの取り組み～
- ・JA斜里町による野菜生産の拡大と加工・業務用野菜需要への対応
- ・新規就農支援による産地形成戦略～「野菜くらぶ」独立支援プログラムから～
- ・えだまめの産地化、加工品販売の取り組み～あきた北農業協同組合を事例として～
- ・新規参入者によるピーマン産地の再興～そお鹿児島農業協同組合ピーマン専門部会における取り組み～
- ・EUの新規就農支援の状況
- ・自社農場所所有の外食企業の野菜調達の実況

(3) 砂糖

- ・徳之島におけるさとうきび機械化の現状と課題
- ・北海道北見市におけるてん菜生産の省力化および作業効率改善の取り組み～第5回高品質てん菜生産出荷共励会最優秀賞 西野繁氏～
- ・鹿児島県奄美市におけるさとうきび生産の省力化および担い手育成の取り組み～平成27年度さとうきび生産改善共励会最優秀賞 榮完治氏～
- ・沖縄県宮古島市におけるさとうきび生産の単収向上の取り組み～平成27/28年期沖縄県さとうきび競作会農林水産大臣賞 上里豊一氏～
- ・豪州砂糖産業の動向～FTA/EPA締結・交渉進展と砂糖産業法の改正～
- ・AEC発足後のタイの砂糖産業をめぐる動向
- ・英国の砂糖産業の動向～EUの砂糖生産割当廃止の影響を中心に～

(4) でん粉

- ・ばれいしょでん粉の安定供給に向けて～それぞれの立場から求めるもの～
- ・JA鹿児島きもつきにおけるかんしょでん粉粕を利用した飼料製造の現状と課題
- ・北海道における種ばれいしょの安定供給に向けた取り組み
- ・かんしょでん粉の食品用途拡大に向けた展望と課題～グルテンフリーへの用途拡大の可能性～
- ・大規模な農地集積による農業経営の安定化を目指して～農事組合法人 勝山グリ

ーンファームの取り組み～

- ・土づくりの工夫および地域との連携によりかんしょの高単収を実現～鹿児島県熊毛郡南種子町 柳田 陽介氏～
- ・CAP改革後の中東欧諸国のばれいしょでん粉産業の動向

4 農林水産省からの受託調査の概要

- ・国内販売促進活動の実態について15団体を調査
- ・国産品PRイベントに参加した8団体にアンケート調査
- ・海外で実施されているチェックオフ制度についての調査

II その他の情報収集提供業務

1 消費者代表との意見交換会

中期計画においては、「消費者等への情報の提供については、消費者等の視点に立ってその要望に応えた分かりやすい情報とするため、消費者等との意見交換会等を通じた双方向・同時的な情報や意見の交換を行うことにより、消費者等の理解の促進を図る」としている。このことを踏まえ、以下のとおり消費者代表との意見交換会を実施した。

開催日	分野	内容等
平成 28 年 7 月 25 日(月)	畜産	近年、牛肉は高値で推移しており、その理由のひとつとして上げられているのが、離農による肉用牛の減少である。そこで、機構が実施している増頭対策について、現地視察及び意見交換を実施し、牛肉供給の仕組みの一端を紹介し、理解を深めてもらうことを目的に、現地意見交換会を開催した。〔佐波伊勢崎農業協同組合（群馬県伊勢崎市）、下山牧場（農協管内の肉用牛繁殖農家）〕
平成 28 年 11 月 21 日(月)	野菜	野菜の生産現場等を訪問し、生産者などと意見交換をすることにより、野菜農家の実態や流通及び機構業務について情報共有を図るため、野菜需給協議会現地協議会と合同開催。〔埼玉ひびきの農業協同組合（本庄営農センター、南部選果場、管内のきゅうり・レタスのほ場、農産物直売所「あおぞら館」）〕

2 「消費の道しるべ」等への記事掲載及びセミナーの開催

機構の各業務や業務を通じて得られた様々な情報について、広報活動をはじめとした様々な手段・方法で広く国民の皆様知ってもらえるよう、情報の社会的発信の強化として、広報誌「a l i c」を発行（隔月）するとともに、セミナーを開催した。

また、一般財団法人消費科学センターが発行する「消費の道しるべ」及び全国地域婦人団体連絡協議会が発行する「全地婦連」に消費者の関心のある記事を掲載した。

(1) 広報誌「a l i c」の発行

発行月	主な掲載内容
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養素がバランスよく豊富に含まれる牛乳について～6月1日は牛乳の日（6月は牛乳月間）～： 一般社団法人 J ミルク 会長 宮原道夫 氏 ・ ハーベスターは“ゆがふ（世界報）”の夢を見るか？～沖縄本島のさとうきび作りを守りたい～ ・ 長崎県における野菜生産の取り組み～ J A 島原雲仙の段々畑を利用したレタス栽培～ ・ 「安心・安全」で「物価の優等生」である鶏卵の生産現場から
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆さん 1 日 3 5 0 g の野菜を食べていますか～8月31日は野菜の日～： 一

	<p>一般社団法人ファイブ・ア・デイ協会会長 小濱裕正 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内で手を取り合い規模拡大に取り組む繁殖農家～山形県真室川町・真室川町農業協同組合～ ・ 徳島県における野菜生産の取り組み～水田を活用したブロッコリー栽培～
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鶏肉はヘルシーで消化吸収のよい良質なたんぱく源～10月29日は国産とり肉の日～： 一般社団法人日本食鳥協会 佐藤実 氏 ・ でん粉原料用かんしょを基礎にした経営を伝えて、担い手を育てる～いぶすき地域でん粉原料用かんしょ部会長 前村千香男さん～ ・ 肉用牛・乳用牛の飼養動向
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな楽しみ方ができるチーズは和食にもピッタリ～11月11日はチーズの日～： チーズ普及協会会長 西尾啓治 氏 ・ チクレンによる乳雄牛肉のサプライチェーン構築に向けた取り組み ・ さとうきびやてん菜など地域の基幹作物を支える砂糖の価格調整制度
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新年のごあいさつ ・ 三代目に受け継がれた伝統野菜「源助だいこん」～石川県金沢市 松本充明さん～ ・ 広大なる十勝の大地で高品質なてん菜を作る～北海道帯広市 大塚徳幸さん～
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ パティシエがつくり出す洋菓子の魅力： 一般社団法人日本洋菓子協会連合会副会長 大山栄蔵 氏 ・ 大きな夢を持って、肉用牛繁殖経営へ新規参入！ ・ モスファームすずなり ～合言葉は“おいしさを求めて”～ ・ “酪農ヘルパー”地域で活躍！

(2) セミナーの開催

実施月	主なテーマ
4月	<p>「最近の中国の牛乳・乳製品需給動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 伊澤 昌栄</p> <p>「東南アジアの牛乳・乳製品需給動向～タイ・インドネシアの酪農事情を中心に～」 独立行政法人農畜産業振興機構 畜産経営対策部 中島 祥雄</p>
6月	<p>「平成27年度 食料・農業・農村白書について ～特集：TPP交渉の合意及び関連政策～」 農林水産省大臣官房広報評価課情報分析室 室長 八百屋 市男 氏</p>
7月	<p>「最近の中国の豚肉需給動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 畜産振興部畜産流通課（前 調査情報部） 伊澤 昌栄</p> <p>「生鮮鶏肉輸出再開後のタイの鶏肉産業の動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 審査役 木下 雅由</p>
8月	<p>「拡大するスペイン養豚産業の現状」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 大内田 一弘</p> <p>「メキシコの豚肉産業の現状と課題」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 渡邊 陽介</p>

9月	「地理的表示保護制度について」 農林水産省食料産業局 知的財産課 課長補佐 進藤 友寛氏
10月	「アマゾン川物流開発で穀物の輸出競争力を高めるブラジル －激化するブラジルとアメリカの輸出競争－」 株式会社農林中金総合研究所基礎研究部 主席研究員 阮 蔚 氏 「旺盛な輸出需要への対応を模索するブラジルの牛肉業界」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 米元 健太
11月	「最近の韓国の牛乳・乳製品需給動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部総括調整役 伊佐雅裕 「中国の牛乳・乳製品をめぐる動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 木田秀一郎
1月	「C A P改革後の中東欧諸国のばれいしょでん粉産業と最近の動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 根本 悠 「豪州砂糖産業の動向 - F T A / E P A締結・交渉進展と砂糖産業法の改正 -」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 丸吉 裕子 特産業務部 園部 佳容子
3月	「日本産農産物輸出のプロセスと継続的な輸出拡大のための今後の課題」 Aglie n 代表 坂井 紳一郎 氏

(3) 「消費の道しるべ」への掲載

掲載月	掲載内容
7月	第11回食育推進全国大会に参加しました
8月	全国初の地理的表示(G I)保護制度登録「江戸崎かぼちゃ」
9月	「安全・安心」で「物価の優等生」である鶏卵(けいらん)について
10月	国内の豚肉生産と養豚農家への支援について
11月	「ばれいしょでん粉」について
12月	復興に向けた農事組合法人井上生産組合(宮城県仙台市)の取組
1月	乳雄(にゅうおす)牛肉需要の高まりに対応した生産者の取組み
2月	紅茶と砂糖の関係 ～イギリスのコーヒー・ハウスにて～
3月	農畜産物のこと、もっと知ってみませんか?～広報誌・イベントなどのご案内～

(4) 「全地婦連」への掲載

掲載月	掲載内容
6月	畜産の生産現場における安全性の確保に向けて ～高病原性鳥インフルエンザの防疫対策～
9月	原料糖から精製糖ができるまで
2月	国産牛肉の安定的な生産のために

